広げよう わらびりんごの

蕨市市制施行 50 周年を機に錦町で誕生したわらびりんごを 後世に残そうという活動が始まりました。

> 平成 23 年 1 月 27 日 関根家松氏による接木講習▶



▲平成 25 年 10 月 10 日 中央小学校5年生にわらびりんごの説明



▲平成 29 年 6 月 20日

活動のなかで誕生しました※この曲はわらびりんごの普及

は思い





▲平成 26 年 3 月 11 日 わらびりんごの会指導による接木講習会

今ある成木から枝を採り"接木"と いう方法で増やします。

5年後、10年後、この苗木が大き くなって蕨市内あちこちで見ること ができるようになるでしょう。



がこぼ ば

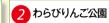
キ雲が踊っ

『わらびりんご』の郷 Map **み**わらびりんごの木[°] 6 (市外) 川口市安行 1015 tel 048-295-1806























※ 1 3 の見学は西公民館にご相談ください。

行:蕨市錦町コミュニティ委員会

集:わらびりんごの会 力:吉澤藤十郎

発行日:令和2年3月31日

お問い合わせ先 蕨市立西公民館

〒335-0005 埼玉県蕨市錦町 3 丁目 3 番 41 号 TEL · FAX 048-442-4054 http://www.city.warabi.saitama.jp/index.htm



世界で、ここにしかないわらびりんご



『わらびりんご』ってなに?

『わらびりんご』とは、蕨市錦町に住んでおられた 故吉澤正一氏が約20年かけて研究開発した北半球で 一番早く成るりんごです。

「りんごは、秋から冬に収穫」という、それまでの常識を打ち破った6月下旬~7月上旬に収穫できる極早生種で、さらにりんご栽培地では南限と言われています。



「わらび」と「つゆばれ」

故吉澤正一氏が品種登録したりんごは「わらび」と「つゆばれ」の二種類あります。

「わらび」は、りんごと共に蕨市の名前も全国に知られるようにと命名されました。小ぶりで酸味が強く、加工品等に向いています。

「つゆばれ」は、梅雨の季節、雨上がりの合い間に宝石のルビーが輝く様を連想し命名されました。「わらび」をさらに品種改良し甘味等が増したりんごです。

『りんご白書』(平成7年8月2日・吉澤みよ・恵子作)参考





Allo.

わらびりんごの生い立ち



年 月	主な内容
昭和 38 年	「東京の盆に間に合うりんご、りんごが無い季節、果物店の店先を真っ赤に染めたい。病人や子どもに新鮮なりんごを食べさせたい」という思いから、極早生りんごの研究を開始
昭和53年	農林水産省に新品種登録申請
昭和56年5月	「わらび」新品種登録完成
昭和57年10月	「わらび」を少しでも多くの人に楽しんでもら おうと、市内の希望者に苗木を 250 本配布
平成2年	新品種「つゆばれ」完成 農林水産省に新品種登録申請
平成3年11月	「つゆばれ」新品種登録完成
平成21年	錦町コミュニティ市制施行 50 周年記念事業 として「わらびりんご」の普及活動はじまる



りんご作出家 吉澤正一



在りし日の 吉澤正一さん (平成2年7月)

大正元 (1912)年 父喜平、母たいの長男として蕨に生まれる

昭和38(1963)年 りんごの研究に取組みはじめる

昭和56(1981)年 極早生りんご完成

平成3 (1991)年 79歳で没

